





マイ様っ
マイさまっ



大役、
頑張ってくださいっ

第二王子殿下の
成人の儀で祝福を
授けるんですよ

最年少で聖女に
選ばれたマイ様ですもの
心配いらないですよ



いよいよ初仕事
ですねっ!!



：聖女マイ

あ、大司教さま!



この国では、聖女は
特別な存在だ—

ありがとう、
みんな
お努め
頑張ってくるね

あうっ
ぽんっ

人々に愛され、教会で修練を
積む聖女見習いたちの
憧れの存在





だが俺は
聖女の姿をひと目見て
欲してしまった



…はい。

この国では
聖女は生涯清らかな存在——
つまり処女であらねばならない



聖女に焦がれた
手に入れた事
が目標になった



聖女見習いとして
やってきたのがマイだった



その美しさに
全身が沸き立った



死に物狂いで研鑽を積み
司教に昇進した頃



俺は彼女を手塩に
かけて育て可愛がった



彼女も存外に
懐いてくれた



聖女を…彼女を手に入れる
唯一の方法
それが大司教にだけ許される
処女検査だ

すべての
この時の為
処女検査で
聖女マイを抱くために

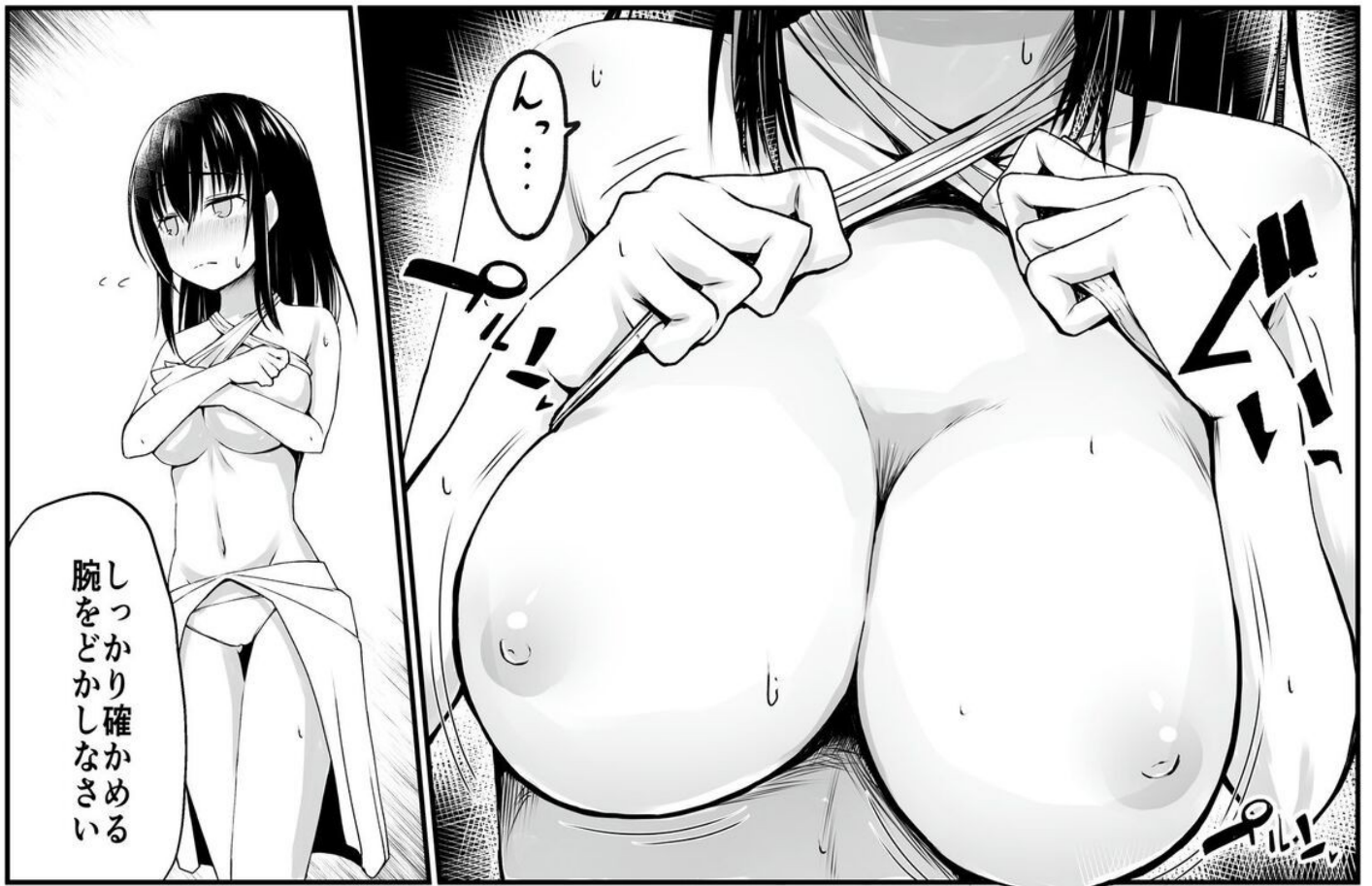


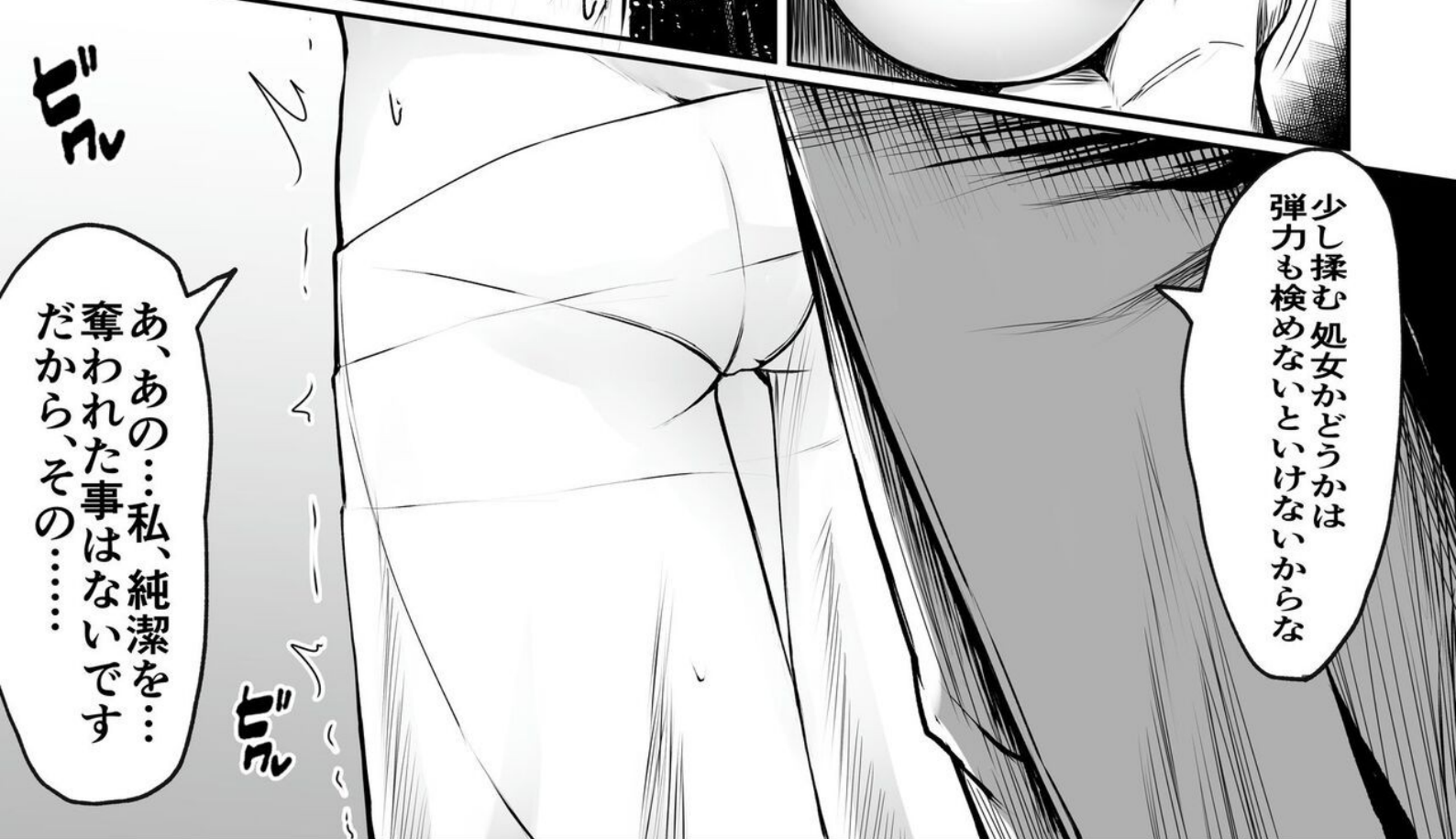
俺はあらゆる手段を使って
ついに大司教の座を手に入れた



そしてすぐに
彼女を史上最年少の聖女に任命した





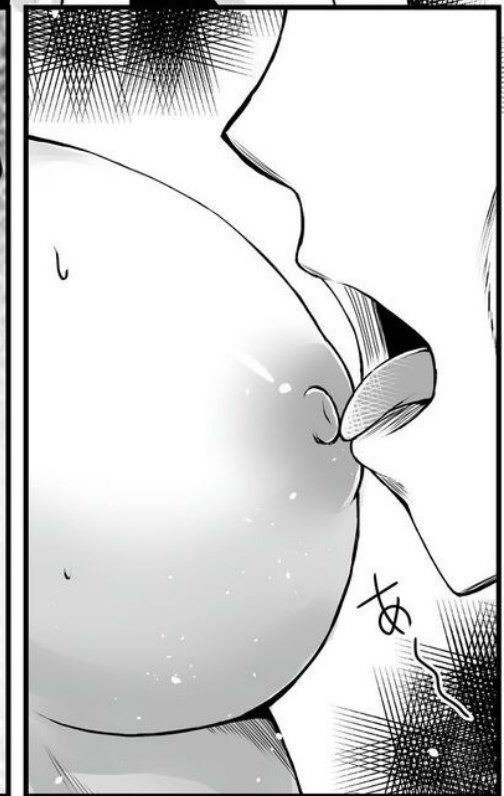


少し揉む処女かどうかは
弾力も検めないといけないからな



処女を証明していく必要がある
これも大事な儀式だ、分かっているね？









これが一番重要な検査だ
マイ、下を脱ぎなさい

もう少しだから
一緒に頑張ろう

……
分かり、ました…

スルッ

おお…!!

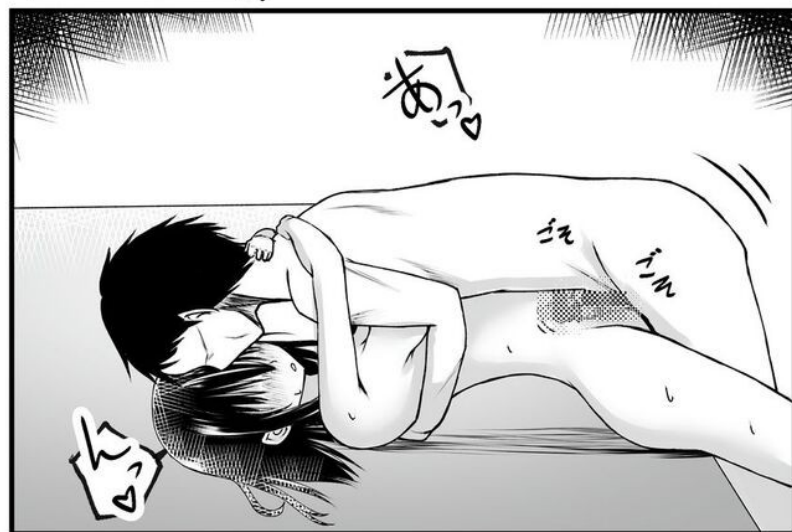
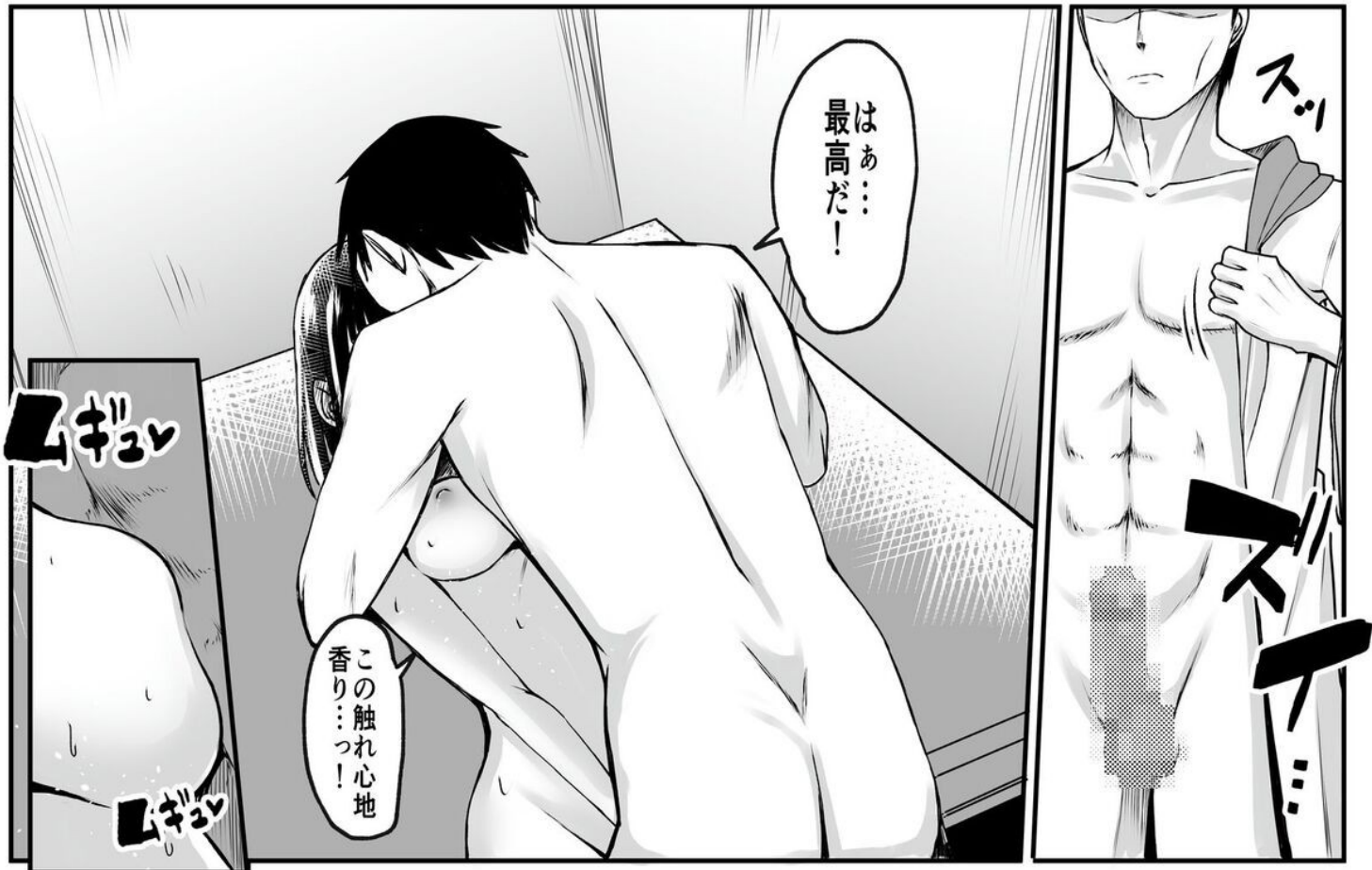
じい

し
やる…

パサッ

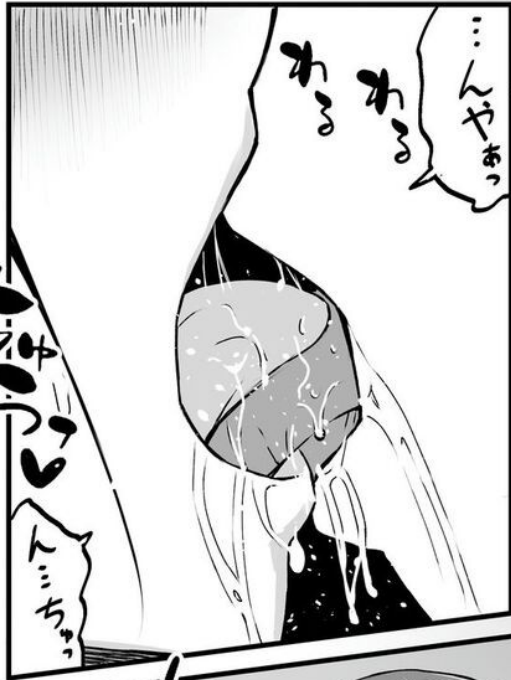


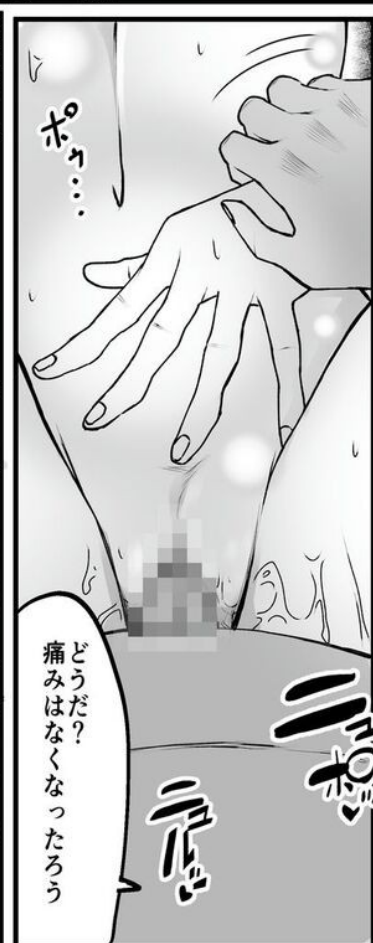






大司教さま、
いやっ…いやあッ…！
マイ、落ち着きなさい
儀式の最中だ







すごい締めりだ
マイ、射精すぞっ、中に…!!

あああああ

グ

グ

グ

グ

グ

グ

あ、ん♡♡

あ

あ

ニ

あ、ダメ!!

ニ

だめっ!!

グ

グ



大司教…さまっ



これが…
君の役目だ



あ…また…ナカで
おつき…くんッ…

ああ…マイ、そんなに
ねだっちゃダメじゃないか…
止まれなくなってしまう

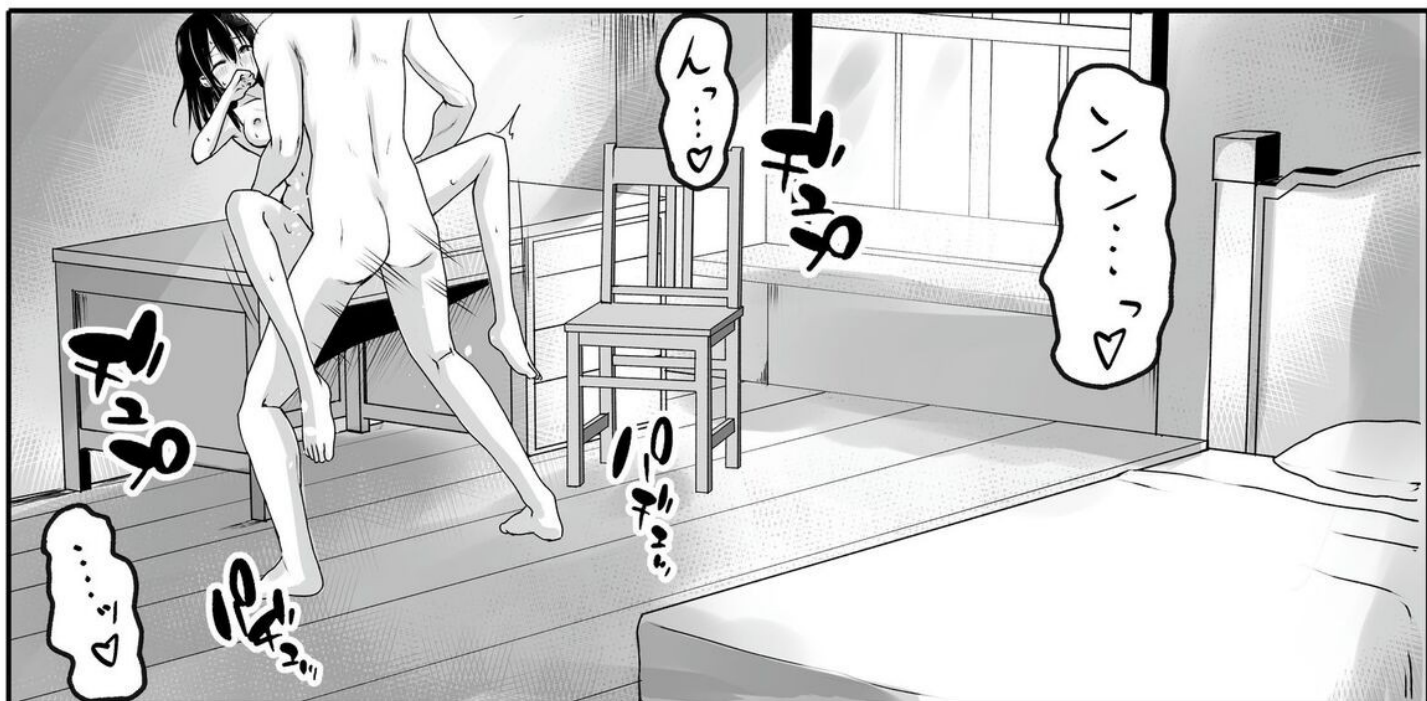
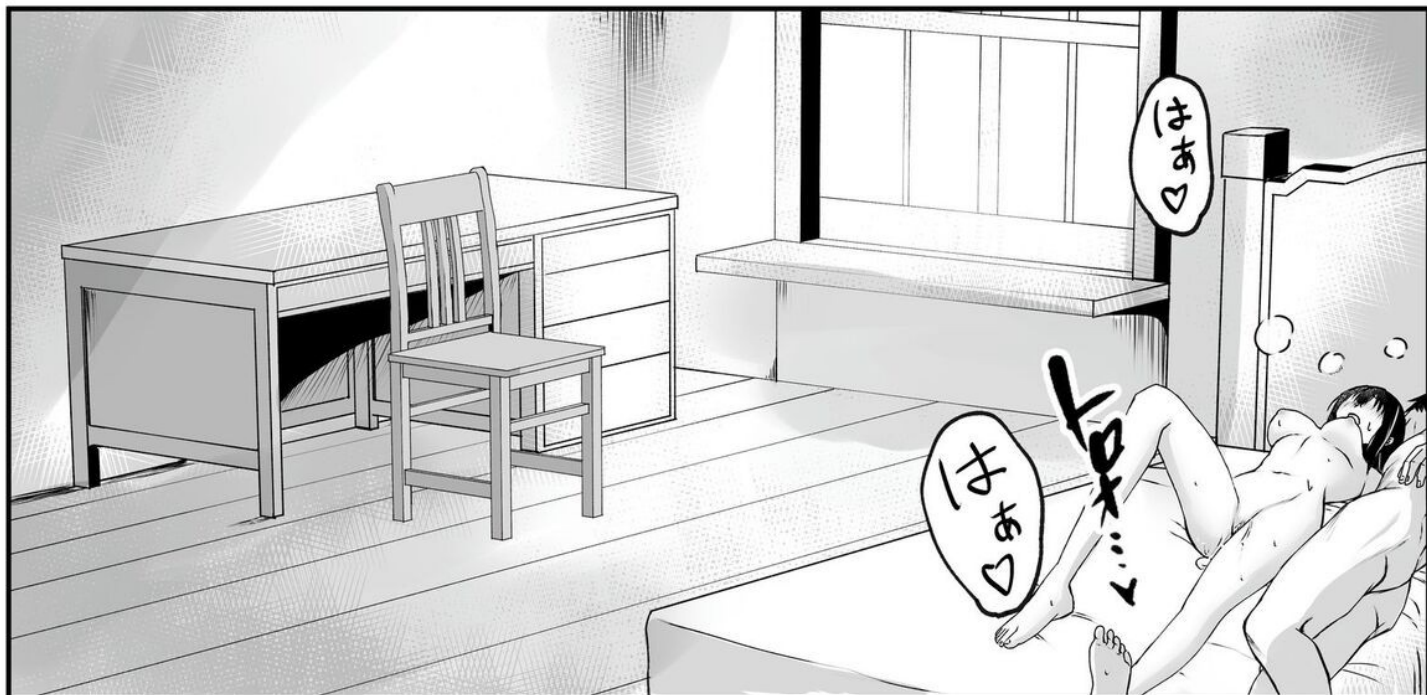
えっ…

私の大切な
聖女よ…



はあ、はあっ…君の黒髪も
この豊かな身体も
全てがいい…！













処女と認められた聖女だけが
飲む事ができる奇跡の薬だ

は

これを飲めば孕むことはない
君は：処女のままだ



11/20/25





